

# 能代市市民荣誉章授与式

日 時 平成29年6月9日(金) 午後3時

場 所 能代市役所 大会議室(旧議事堂)



## 次 第

開 式  
市 民 歌 斉 唱  
市 長 式 辞  
能代市市民荣誉章授与  
来 賓 祝 辞  
受 章 者 謝 辞  
閉 式

# 能代市市民栄誉章受章者

(受章者の年齢順に掲載)

○国政分野において特に顕著な功績



の ろ た ほう せい  
野 呂 田 芳 成 氏

(87歳)

住 所 神奈川県横浜市

出 身 地 秋田県能代市

## 功 績

昭和52年に政界入りされ、平成21年までの32年間、国の発展・世界平和に尽力されたことはもとより、国と地元能代との間に立って、本市の進展に多大な貢献をされました。

特に、本市出身初の国務大臣として3度歴任され、農林水産大臣在任中は、本市の基幹産業である農林水産業の振興と発展に寄与されました。

## 主な受章歴等

- 平成13年 インド勲章最高位  
(パドマ・ヴィブーシャン) 受章
- 平成14年 勲一等旭日大綬章受章
- 平成16年 奈良県明日香村名誉村民

## 主な略歴

- 昭和28年 中央大学法学部卒業
- 昭和28年 建設省入省
- 昭和52年 参議院議員(1期)
- 昭和58年 衆議院議員(8期)
- 平成7年 農林水産大臣(村山内閣)
- 平成10年 国務大臣防衛庁長官(小淵内閣)
- 平成11年 同上(小淵改造内閣1次)
- 平成12年 国家基本政策委員長
- 平成13年 衆議院予算委員長
- 平成21年 政界引退



衆議院での代表質問の様子





○スポーツ分野（体操）において特に顕著な功績



お の たかし  
小野 喬 氏  
(85歳)

住 所 東京都大田区

出 身 地 秋田県能代市

功 績

昭和27年のヘルシンキ大会からオリンピックに4大会連続出場され、昭和31年のメルボルン大会では、日本体操界初のオリンピック金メダル（鉄棒）を獲得されました。出場したオリンピック4大会で、金メダル5個、銀メダル4個、銅メダル4個の計13個のメダル（日本人最多）を獲得され、日本体操男子の黄金期の礎を築かれました。

現役引退後は、体操のほかマレットゴルフ等をはじめ、スポーツの普及振興に寄与されました。

主な受章歴等

昭和63年 紫綬褒章受章  
平成2年 旧能代市市制50周年記念特別表彰  
平成10年 国際体操殿堂入り  
平成17年 旭日中綬章受章  
平成23年 名誉都民  
平成28年 文化功労者

主な略歴

昭和29年 東京教育大学（現 筑波大学）体育学部卒業  
昭和32年 慶應義塾大学法学部卒業  
昭和32年 東洋レーヨン（現 東レ）入社  
昭和40年 池上スポーツ普及クラブ設立、代表  
昭和52年 財団法人スポーツクラブ協会（現 公益財団法人日本スポーツクラブ協会）設立、理事長  
平成7年 能代山本スポーツリゾートセンターアリナス名誉館長  
平成21年 一般財団法人日本マレットゴルフ協会代表理事



昭和31年メルボルン大会  
鉄棒で金メダル獲得





○スポーツ分野（バスケットボール）において特に顕著な功績



かとう ひろし  
加藤 廣志 氏  
(80歳)

住 所 秋田県能代市

出身地 山本郡藤里町

功 績

昭和35年、母校である能代工業高等学校に教諭として赴任され、バスケットボール部の監督として、引退されるまでの30年間で、全国優勝33回を達成、そのうち三冠王（国体・インターハイ・選抜の3大会優勝）を5回、インターハイ7連覇という前人未到の偉業を成し遂げられました。高校バスケットボール界の王者として「能代工業高等学校バスケットボール部」を育て上げた名将であり、能代の名を全国にとどろかせました。

主な受章歴等

昭和51年 旧能代市特別表彰（体育）  
昭和57年 秋田県教育功労賞  
平成20年 瑞寶小綬章受章  
平成28年 日本体育大学功労スポーツマスター



昭和50年 初の全国三冠王達成

主な略歴

昭和31年 秋田県立能代工業高等学校卒業  
昭和35年 日本体育大学体育学部卒業  
昭和35年 秋田県立能代工業高等学校赴任、バスケットボール部監督  
平成9年 秋田県立能代工業高等学校校長  
平成10年 能代山本スポーツリゾートセンターアリナス館長  
平成12年 能代山本バスケットボール協会会長、能代市バスケットボール協会会長  
平成14年 秋田県バスケットボール協会会長  
平成18年 東北バスケットボール協会会長





○スポーツ分野（野球）において特に顕著な功績



やま だ ひさ し  
**山田 久志 氏**  
(68歳)

住 所 兵庫県西宮市

出身地 秋田県能代市

**功 績**

昭和44年にプロ野球界入りされ、昭和63年に現役引退されるまでの20年間で、数多くのタイトルを獲得したほか、阪急ブレーブスのエースとして7度のリーグ優勝、3度の日本シリーズ優勝にも大きく貢献され、アンダースロー投手として現役通算284勝を達成されました。引退後は、野球解説や評論家、オリックス投手コーチ、中日ドラゴンズ投手コーチ、ヘッドコーチを務め、平成14年には、中日ドラゴンズの監督に就任されました。平成21年に行なわれたワールド・ベースボール・クラシック（WBC）では、日本代表の投手コーチとして世界一に貢献されました。

**主な受章歴等**

平成元年 秋田県県民栄誉章受章  
旧能代市特別表彰（体育）  
平成18年 野球殿堂入り

野球殿堂入りを契機に、能代球場に「山田久志サブマリンスタージアム」の愛称が命名され、夏の全国高校野球大会予選等の各種大会の会場として親しまれています。



「サブマリン投法」で通算284勝を達成

**主な略歴**

昭和42年 秋田県立能代高等学校卒業  
昭和42年 富士製鐵釜石（現 新日鐵釜石）入社  
昭和44年 阪急ブレーブス入団（ドラフト1位）  
昭和63年 現役引退  
平成6年 オリックス・ブルーウェーブ投手コーチ  
平成11年 中日ドラゴンズ投手コーチ  
平成13年 中日ドラゴンズヘッドコーチ  
平成14年 中日ドラゴンズ監督  
平成21年 ワールド・ベースボール・クラシック日本代表投手コーチ



# 能代市民歌

工藤和久 作詞  
青島広志 作曲  
能代市民歌制定検討委員会補作詞

一

米代の流れ とうとうと  
豊饒の地を 潤して  
めぐる季節の 彩りよ  
人創り まら創り 夢創り  
水と緑の 能代市は  
輝く世界へ 開けゆく

二

遙かに望む 白神に  
悠久の命 満ち満ちて  
歴史と文化の 花ひらく  
人創り まら創り 夢創り  
水と緑の 能代市は  
輝く未来へ 羽ばたいて

三

松原ゆらす 日本海  
平和の想い 奏でつつ  
心結んで 温かく  
人創り まら創り 夢創り  
水と緑の 能代市は  
輝く未来へ 開けゆく

平成二十一年一月一日制定

## 能代市市民栄誉章

スポーツ、芸術、文化及び学術等の分野において顕著な功績を挙げ、市民に夢と希望を与えるとともに、能代市の名を全国に広めた方に授与し、その榮譽をたたえます。

平成29年4月制定

